

平成23年度安曇野市健康づくり推進協議会（第1回） 会議概要

1	審議会名	平成23年度安曇野市健康づくり推進協議会（第1回）会議
2	日 時	平成23年7月1日 午後1時30分から午後3時15分まで
3	会 場	穂高健康支援センター 問診室計測室
4	出席者	高橋委員、下條委員、中村委員、平林委員、浅見委員、板花委員 青柳委員、那須委員、田口委員、高橋委員、中澤委員、曾根原委員 藤森委員、竹岡委員（欠席：秋山委員）
5	市側出席者	務台健康福祉部長、場々健康推進課長、奥村課長補佐、宮澤課長補佐 塚田係長、小穴係長、丸山係長、小林国保年金担当係長、高橋係長 久保田保健師、青柳管理栄養士、上条保健師、笠井歯科衛生士、関
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年7月5日
協 議 事 項 等		
1	会議概要	
1	開会	
2	自己紹介	
3	会長あいさつ	
4	協議事項	
	(1)	安曇野市の健康課題について
	(2)	平成22年度保健事業報告について
	(3)	その他
5	閉会	
2	協議概要	
	(1)	安曇野市の健康課題について（事務局説明）
	(委員)	脳梗塞、心筋梗塞、糖尿病予備軍が多いと毎年データが出されているので、原因を分析して、いろいろな組織も含め、一緒に考えていった方がよい。
	(事務局)	健康づくり推進員で勉強会を行っている。対策をとってから結果が出るのに8年かかる。
	(委員)	医療の無駄を無くす事をテーマにしたテレビ番組があった。その中で糖尿病予備軍を集めて対策をとったら1億円浮いたという話があったので、参考にしてほしい。
	(委員)	特定健診受診率の22年度見込みは？ 広報紙で周知を図っても、皆見ているとは限らない。本人の問題もあるが、これを高めていく必要がある。市ホームページも情報を検索するのに時間がかかる問題がある。
	(事務局)	22年度の受診率は対象者が確定していないが、昨年より1%増え31.3%です。 人間ドック受診は約2倍になり、脳ドックは約300人受けている。 医療機関にポスターを貼る等広報したい。

(2) 平成22年度保健事業報告について（事務局説明）

（委員）虐待が増えている要因は家庭にあるとされているが、同じ家庭に対してどの位訪問できるのか。

（事務局）母の不安がなくなるまで行う。何歳になったら終了ということはない。

（委員）子宮頸部検診・マンモグラフィ検診のクーポン券の利用率は？

（事務局）安曇野市では高い年代で約30%

国の目標は50%だが、全国的には30%程度

（委員）安曇野には世界一の食材が作れる人材がいる。こういった方に協力いただき、一流ブランド作りに努めることが、健康づくりになると思う。

（委員）もっとインパクトのある具体的な目標を立てて、そうなるためにはどうするかを勉強会や教室をやってほしい。若い人にも興味を持ってもらうようにしてほしい。

(3) その他

7月 2日（土）13時30分～「地域で共に生きようフェスティバル」穂高交流センターみらい

7月 9日（土）13時30分～「健康づくり講演会」穂高健康支援センター

7月16日（土）13時15分～「食育シンポジウム」豊科交流学習センターきぼう